

- 大阪市は、森林を保有していないことから、大消費地として木材利用の拡大や普及啓発活動をととして、森林整備の促進を間接的に支援してまいります。
- 令和4年度においては、保育園や小中学校など次世代を担う世代が木材に触れ合うことを目的に、木製品による保育園の備品の整備、小中学校の椅子や机の整備を実施しました。
- また、間伐材等を利用した木工細工体験教室を実施し、椅子などを製作して区役所内で活用する他、身近な自然での森林環境教育につながるイベントを開催しました。
- さらに、木材利用の普及啓発の一環として市立図書館において、関連図書を整備しました。

□ 事業内容

1 市立図書館における閲覧机・椅子・書架等の整備事業

市立図書館に国産木材を利用した閲覧机・椅子・書架等を整備した。

【事業費】19,278千円（うち譲与税19,278千円）

【実績】中央図書館ほか23館、備品・消耗品

2 森林環境普及啓発事業

森林・林業・木材産業等についての図書と電子書籍を購入した。

【事業費】2,872千円（うち譲与税2,872千円）

【実績】図書1,225冊、電子書籍等デジタルコンテンツ34点



□ 事業スキーム

一般競争入札、随意契約、特名随意契約

□ 工夫・留意した点

- ・老朽化した図書館の備品を更新するとともに、身近に木の良さを感じてもらえるようオリジナルグッズを製作した。
- ・購入した図書には、森林環境譲与税を活用した旨を表示したラベルを貼り、図書館HPで紹介するとともに、図書展示を行った。



□ 基礎データ

①令和4年度譲与額：310,620千円		②私有林人工林面積（※1）：0.00ha	
③林野率（※1）：0.00%	④人口（※2）：2,752,412人	⑤林業就業者数（※2）：157人	

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より